

●水分補給を忘れずに！無理せず木陰で十分な休憩を！

今年も暑い夏が始まりました。木陰を利用しながらてくてく散歩を楽しんでください。

●ホオズキは、霊を導く提灯！？

●8月になると、ホオズキの実を包むガクがきれいな朱色に染まります。日本では、お盆に先祖の霊が帰ってくるといわれ、枝付きのホオズキの実を提灯に見立て飾っていました。ホオズキを「鬼灯」と書くのはそういった理由があるからだそうですよ。



①ホオズキ

●盆花といえば、オミナエシ(女郎花)

●オミナエシは秋の七草のひとつに数えられ、万葉集にも登場し、源氏物語にも登場する、古くから人々に愛されている植物です。また、お盆に盆棚に備える盆花としても使われます。日当たりのよい草地に生えますが、全国的に数が少なくなってきました。背丈の高い外来種が増え、居場所を奪われているからだといわれています。



②オミナエシ

●美しい秋の七草だけど、迷惑な雑草のクズ(葛)

●クズは、世界の侵略的外来種ワースト100に選ばれているほど繁殖力が強い植物です。その生命力あふれる根にはデンプンが多く含まれており、砕いて精製したものを葛湯や葛切り、葛餅などにして日本では古くから食用として用いられていました。花は美しいのですが、他の植物に覆いかぶさり枯らしてしまうので、公園では増えすぎないように駆除を行っています。



③クズ

●古くから愛されているハギ(萩)の花

●秋の七草の一つでもあるハギは、万葉集に141首と最も多く詠まれているほど古くから人々に親しまれている植物です。着物や帯の柄や、食器、焼き物など様々な工芸品のモチーフとして用いられています。また、茶室の天井、垣根などの材料として使用されています。



④ハギ

■秋の七草の覚え方

オミナエシ、ススキ、キキョウ、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギ 「お好きな服は？(オスキナフクハ)」と覚えましょう。



⑤カマクラナデシコ

●夏といえばサルスベリ(百日紅)

●毎年この時期になるとサルスベリが見頃になります。漢字で「百日紅」と書くように、花期が長く、7月～10月まで楽しむことができます。



⑥サルスベリ



■今月の鳥 「カイツブリ」

カモの雛かな？と思ってしまうほど、小型のカモより小さいカイツブリ。観察すると、何度も何度も潜水を繰り返す姿が見られます。30秒近く潜ることができ、小魚や水生昆虫などを捕まえて食べます。潜水が得意なことから、この辺りでは「もぐっちょ」と呼ばれています。繁殖期(4月から7月)には水草や枯れ草を上手に使って、水に浮いているように見える浮き巣を作り、子育てをします。子育ての時期には、親鳥が雛を背中に乗せて泳ぐ愛らしい様子が見られることかもしれません。



★カイツブリ

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！
公園の様々な情報をアップロードしますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。
Instagram https://www.instagram.com/koga_kubou/
Twitter https://twitter.com/kubou_park

■Instagramアカウント



■Twitterアカウント



●この季節は日差しが強く、気温も高いので、熱中症にはくれぐれもご注意ください。

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索